

# 腕に、オレンジの輪。

2025年、全国の65歳以上の5人に1人が認知症を患うと予想されています。認知症が進んでも安心して暮らせるために、周囲の人ができることを考えます。

## オフラインを求めて。

スーパーの移動販売車で穂高地域を回り、食料品や日用品を販売している原征輝さん。高齢の利用者も多く、認知症の不安がある皆さんにも接しています。

原さんは、より深く、認知症のことを知るために、「認知症サポーター養成講座」を受講し、サポーターの証であるオレンジリングを身に付けてながら仕事をしています。原さんと原さんの業務をサポートしている耳塚浩典さんに高齢者と接する中で心掛けていることなどを聞きました。

車に食料品をはじめ、事前にリクエストを受けた商品も詰め込む。「皆さんが元気でいてほしいと思いながら回っています」と原さん。



### 何もかもが、できなくなる訳ではありません。

用品はインターネットでも購入できますが、移動販売車は1対1の対面の離れた友達ができたと感じる感覚のようで、お買い物を通じて親しくお話しさせていただいています。認知

#### 推進員からメッセージ

認知症地域支援推進員は、市内3カ所の地域包括支援センターで、認知症の方とその家族を支えるための地域の体制づくりと、個別の相談に

が講座を受講しています。

—孤独死や徘徊による事故を防ぐための「見守り協定」も結ばれています。

配達先のお家で返事がなく、鍵が掛かったままで、行政に連絡したことがありました。他にも、食料品を必要量より大幅に買い過ぎていたり、声掛けさせてもらっています。

—認知症になっても、安心して暮らせる地域になるため、何か必要だと思えます。

新型コロナウイルスの影響で、暮らしの中での交流が減ってしまいました。日

症も含め、どんな状況になっても、人とのふれあいは暮らしには欠かせないものだと痛感しています。認知症は誰もが起こりうるもの。認知症の方ができること、できないこと、どんな想いで過ごしているかを直接コミュニケーションを取りながら、理解することが第一歩だと思います。そして、思いやりを持って、さりげなくサポートできると良いなと思っています。

応じています。認知症になったら、何もかもできなくなる訳ではありません。本人のこれまでの暮らしや今の状態を周囲の皆さんが理解し、その人のペースに合わせたサポートをすることが本人の持っている力を生かすことにつながります。ご本人がしたいと思うことやご家族の気持ちに寄り添いながら、皆さまの相談に応じることを心掛けています。

どうぞお気軽に！



### 特集◎広がれ！オレンジの輪

市役所内「あったカフェ」コラボ企画

#### 9月限定☆ オレンジゼリー!

市役所東玄関にある「あったカフェ」では、9月のオレンジキャンペーンにあわせ、果汁100%オレンジゼリーを限定販売。一緒にお渡しする認知症をより知るためのチラシもお読みください!

オレンジ色は、認知症への理解を呼びかける「オレンジキャンペーン」のシンボルカラー。温かみのあるこの色は、「あなたを支えます」という意味を持つといわれています。

### 認知症の理解を深める オレンジキャンペーン

#### ●映像上映～認知症の人と家族の思い～

日時：9月19日(日) 13:30～15:30  
場所：穂高交流学習センター「みらい」  
約20分の映像をリピート再生。  
入場無料。福祉用具の展示も実施。

#### ●図書館でのおすすめ図書展示

期間：9月29日(水)まで  
場所：市内5図書館特設コーナー

#### ●本人の声・メッセージなどのリレー展示

日時：9月随時 場所：市役所、各支所

### 認知症サポーター養成講座

講座はおおむね1時間半。地区公民館や団体、学校の集まりに合わせ開催しています。認知症の症状や対応などを学びます。受講は無料。受講後に「認知症サポーターカード」をお渡しします。

☎介護保険課介護予防担当 ☎71・2474

#### 推進員3人衆!

市内3カ所の地域包括支援センターに在籍しています。認知症のことなど気軽にご相談ください。